

研究課題名「切除膵癌の予後因子としての Albumin-Globulin 比」に関する情報公開

1. 研究の対象

2002年1月1日～2017年12月31日までに当院で膵切除術を受けられた方。

2. 研究目的・方法・研究期間

近年種々の癌腫で、Albumin-Globulin 比が有用な予後因子であるとの報告が出ています。通常の血液生化学的検査で算出可能な簡便な指標であり、切除膵癌症例、特に近年標準治療となっている術前化学療法施行症例について解析を行います。研究期間は、実施承認日から2022年3月31日です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：

年齢、性別、病歴、肝疾患治療歴、手術日、手術前後の血液検査結果、腹部CT画像等。

試料：

なし。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒466-8550

名古屋市昭和区鶴舞町 65

名古屋大学大学院医学系研究科

消化器外科学

TEL：052-744-2245

FAX：052-744-2252

研究責任者：名古屋大学大学院医学系研究科消化器外科学・病院講師・林 真路